

### 【3 浸出水集排水管】

- 浸出水集排水施設は、廃棄物に触れた水を埋立区域内から速やかに排除し、処理施設へ送るための施設です。
- 埋立地内に降った雨は、浸出水として遮水シートの上に葉脈状に敷設した浸出水集排水管で、埋立地内に留めることなく速やかに集水され、浸出水調整池及び浸出水処理施設を経由してポンプ圧送により広島市公共下水道(太田川処理区)に放流します。埋立地へ降った雨水の流れのイメージは、図-1 のとおりです。

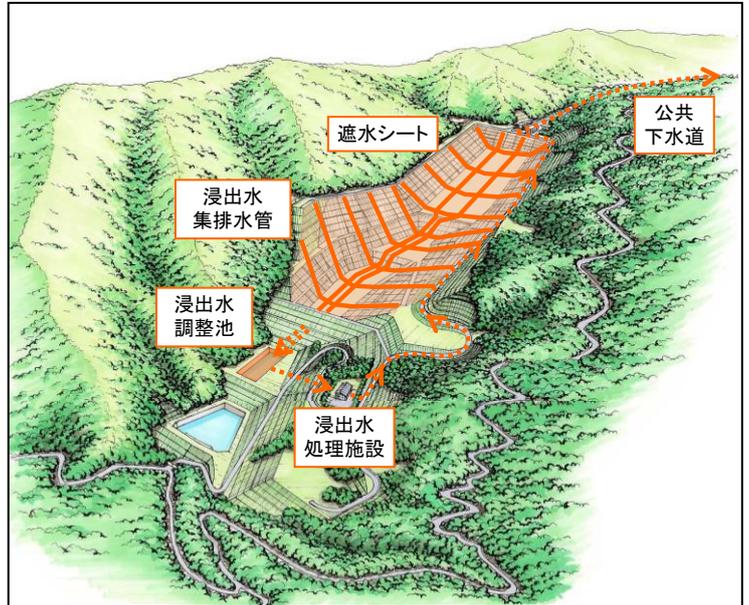


図-1 埋立区域へ降った雨水の流れ

- 浸出水集排水管の大きさ及び配置は、以下のとおりとしています。(図-2、図-3 参照)
  - ・管径は、幹線を 60cm、支線を 30cm。
  - ・支線間隔は、原則 20m 以下。
  - ・約 2,000m<sup>2</sup>に 1 か所の間隔で、竪型集排水管を設置。

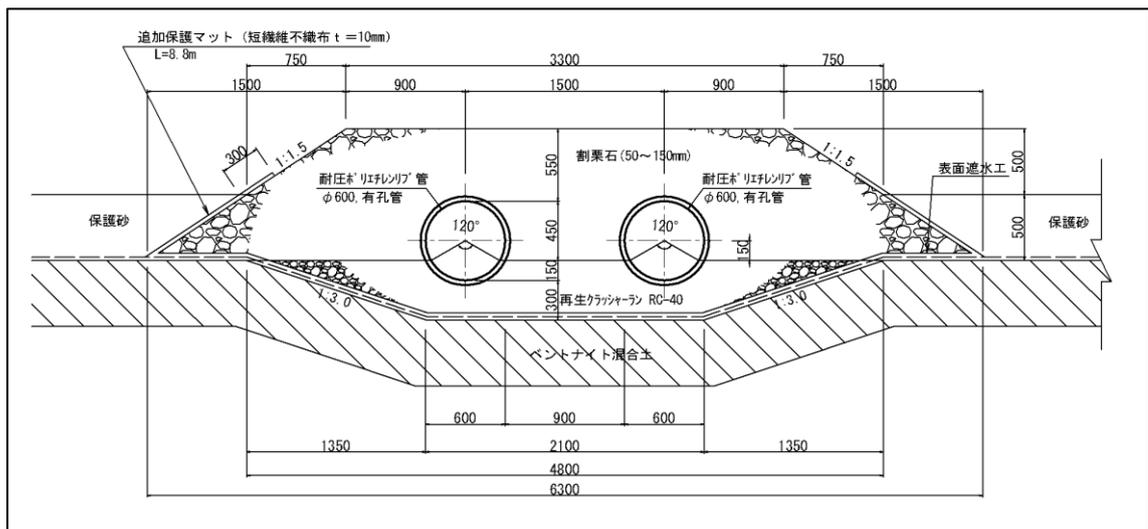


図-2 浸出水集排水管の断面構造図

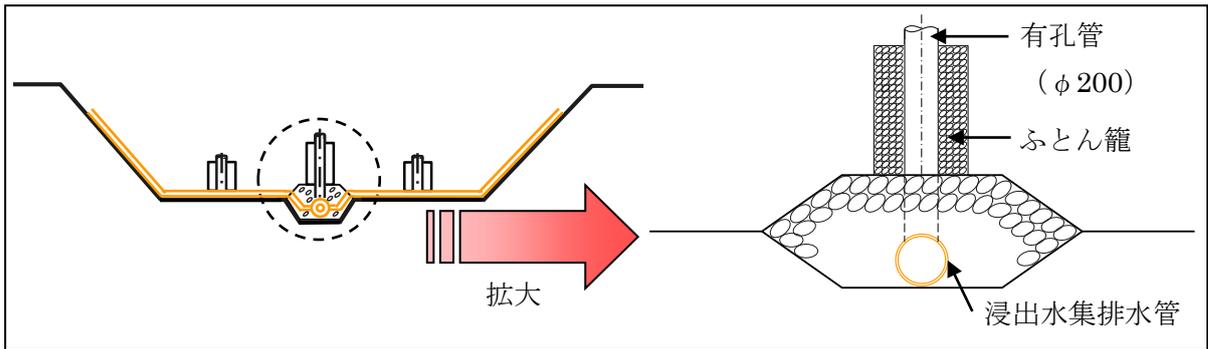


図-3 豎型集排水管の構造イメージ (一例)